

一人の健康から地球の未来まで

赤塚植物園の

グリーン通信

Green Communication

〇〇〇

vol.278

(2024.01発行)

シンビジュームを育ててみましょう

「洋ランは管理が難しそう…」と感じている方も多いのではないのでしょうか。そんな方におすすめなのがシンビジュームです。シンビジュームは東南アジアから日本にかけて自生する原種を交雑育種してできた品種で、洋ランの中でも丈夫で育てやすく、寒さにも強いのが特徴です。明るい日差しに当て、開花期にしっかりと水を与えればよく育ち、花を咲かせます。



良い株を
選ぶ
ポイント

Point1

高さがそろっているもの

Point2

咲き具合が同じぐらいのもの

蕾が多い株を選びがちですが、ご自宅で管理する際に湿度や温度が不足するとうまく咲かない場合があります。選ぶならしっかり花が咲いているものがおすすめ。生産者が温度管理をして開花させている株なのでしっかりしており、花弁も厚く長持ちします。

株が鉢いっぱいになったら 植え替えか株分けをしましょう

ずっと同じ鉢で育てると鉢全体に根が回って根詰まりを起こし、花が小さくなったり、花芽が出で来なくなったりする場合があります。株が鉢いっぱいになったら植え替えか株分けを行いましょう。株が大きくなり、花もよく咲きます。

植え替え・株分けの適期は春の4月～5月頃で、2年に1回程度行います。用土は洋ラン専用用土を使用しますが、もともと使っていたものと同じ用土やバークを使用すると馴染みが良く、おすすめです。



① 鉢抜き

根ががっちりとして硬く張っていることが多いので、ハンマーや角材などで鉢の縁を叩くと抜けやすくなります。

軽く叩いて
鉢を叩き落とす
イメージ



② 根切り

発根を促すため、根の1/4～1/3程度をノコギリ等で輪切りにします。



根切りに使うノコギリやハサミは使用前後に消毒しましょう！

シンビジュームはウイルス病という病気にかかることがあり、刃物を介して他の植物にもうつる可能性があります。

消毒方法：ノコギリ・ハサミをウイルス消毒液「ピストロン」に1～2分ほどつけた後、水で洗い流します。

③ 植え付け

②で切り落とした根と同量程度の洋ランバークか洋ランの培養土を入れていきます。新芽が出ている方向にスペースを空けて株を置き、土を入れていきます。

鉢と土の間に隙間ができないよう、わりばし等で埋めてください。



シンビジュームを育てるコツ



置き場所

年間を通して日当たりと風通しの良い場所で栽培します。春から秋(5月～10月頃)は屋外で管理することができます。10℃以下になったら室内に取り込んでください。

真夏の直射日光は苦手ですので夏場は半日陰の涼しい場所が適します。



水やり

7月～8月の真夏の時期は、毎日の水やりが必要です。晴れた日には必ず行いましょう。それ以外の時期は、鉢土が乾いたら水をたっぷり与えます。

特に蕾や花がついているときは水を切らさないように注意してください。

ハダニがつきやすい為、葉にも水をかけると予防・対策になります。



肥料

4月～5月頃に一度、洋ランの肥料「モルコート」を与えましょう。

1年間効果が継続し、肥料のやり忘れが防げます。

鉢サイズに合わせた使用量の目安が記載されているので、安心してお使いいただけます。



芽かき

不要な芽を取り除き、他の芽に十分な栄養を与えるためのとても重要な作業で、春に行います。

葉の新芽は1つの球茎(バルブ)に1本だけ残してかきとりましょう。残った芽が成長し、充実すると花が咲きます。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	休眠期		成長期					充実期		休眠期		
生育状態	← 開 花 →						← 花芽分化 →		← 花芽伸長 →		← 開 花 →	
日照・置き場所	☞ 窓辺の周辺		☀️ 良く日の当たる室外				🌿 涼しい半日陰		☀️ 良く日の当たる室外		☞ 室内の窓辺	
水やり	4～5日に一回				毎日たっぷり 暑い間は夕方にも葉水を兼ねて水を与える				4～5日に一回			
作業	● 2～3輪しおれたら 花切りを行う			● 植え替え・株分け(4月～5月) ● 芽かき(3月～6月)			● 花芽が伸びたものに 支柱を立てる					

赤塚植物園 アカツカFFCパビリオン

〒514-2293 三重県津市高野尾町1868番地の3 TEL 059-230-2121
営業時間…【1・2月の営業時間】10:00～17:00(土日祝含む) 毎週火曜定休

赤塚植物園
公式LINE



公式
Instagram

FFCパビリオン

赤塚植物園

